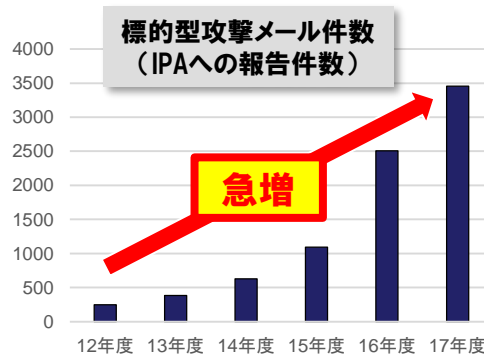


アラクサラネットワークス社 AXシリーズ サイバー攻撃自動防御ソリューション

トレンドマイクロ社ネットワークふるまい検知装置
(Deep Discovery™ Inspector / Trend Micro Policy Manager™)連携

ふるまい検知装置 Deep Discovery™ Inspector と、
アラクサラのコントローラ、ネットワークスイッチを組み合わせ、
標的型攻撃から情報システムを自動的に防御。

✓ サイバー攻撃の脅威は増加の一途。特に「標的型攻撃」は急増中



情報セキュリティ脅威 Top3
(IPA 情報セキュリティ10大脅威 2019より)

順位	組織における脅威
1	標的型攻撃による被害
2	ビジネスメール詐欺による被害
3	ランサムウェアによる被害

【出典】サイバー情報共有イニシアティブ(J-CSIP) 運用状況[2018年1月～3月](2018年4月25日)
<https://www.ipa.go.jp/files/000066063.pdf>

【出典】情報セキュリティ10大脅威 2019(2019年1月30日)
<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2019.html>

『標的型攻撃』の
恐怖

侵入されたことに気付けないため、
対応が遅れて被害が拡大

経済産業省「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」によると、約半数は外部からの指摘で発覚

✓ 脅威に対して「標的型攻撃特化製品」を導入する企業が増えている

- ◆ 公共/文教/一般企業など広範囲に渡り、標的型サイバー攻撃による情報漏洩、ランサムウェアを使った恐喝などが大きな社会問題となっている
- ◆ セキュリティベンダは「**標的型サイバー攻撃向け特化型脅威対策製品**」を投入して内部対策ソリューションを展開、その市場が急激に拡大している(2017年は前年比29.9%増、2022年には約2.3倍に拡大予測)

情報漏洩の検知だけでなく、
遮断もしたい！



日立ソリューションズは
ネットワークで
自動遮断を提案！

【出典】IDC Japan: 国内標的型サイバー攻撃対策市場規模予測を発表(2018年10月23日)
<https://www.idcjapan.co.jp/Press/Current/20181023Apr.html>

サイバー攻撃自動防御ソリューションの概要

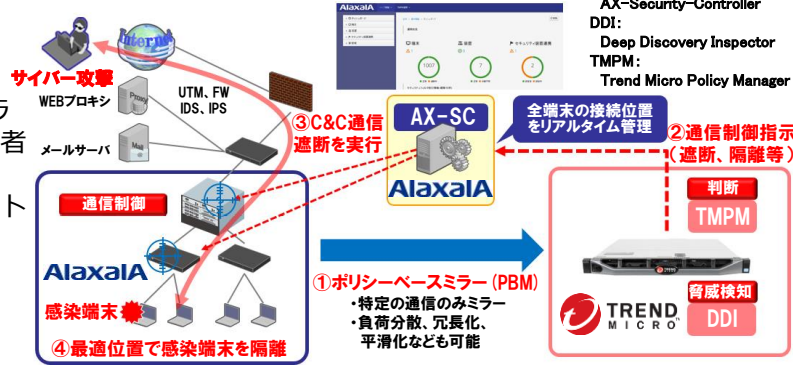
トレンドマイクロ社ふるまい検知装置との連携

アラクサラのコントローラ（AX-Security-Controller）とトレンドマイクロ社のふるまい検知装置（Deep Discovery™ Inspector / Trend Micro Policy Manager™）との連携により、感染端末を自動検知し・遮断することが可能です。

AX-SC: AX-Security-Controller
DDI: Deep Discovery Inspector
TMPM: Trend Micro Policy Manager

汎用スイッチを利用するので導入しやすい

SDN※/OpenFlow系に比べて機器やコントローラの価格は安価であり、既存のアラクサラ製品利用者ならば、その資産を活かすことができます。さらに、特殊な機器、機能を必要とせず、ネットワーク全体をカバーできるメリットがあります。
SDN : Software Defined Network



提携先のSOC/NOCにてレポート提出も可能

ユーザおよび運用管理者に優しい運用

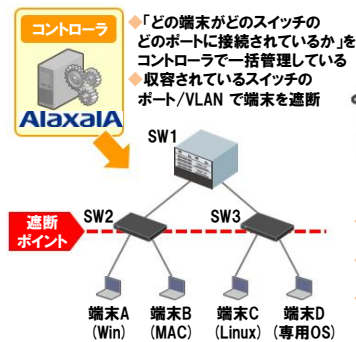
エージェントレスで動作

端末の管理はコントローラにて一括で行っているため、端末側には特別な設定は不要。従って導入時のユーザ側の面倒な設定などは不要です。

遮断中のユーザに対するお知らせ

遮断中のユーザに対しては、警告アナウンスをブラウザ上に表示することが可能です。そのことで運用管理者のユーザへの説明などの手間を省くことが可能です。さらにその内容はカスタマイズ可能であり、お客様の環境に合わせた運用が可能です。

エージェントレスで動作するので、端末側に特別な設定は不要



遮断中のユーザに対しては、警告アナウンスをブラウザ表示



- ◆ アナウンスの内容はカスタマイズ可能 (アクション指示、問い合わせ先の表示など)
- ◆ 正常復帰を確認後、コントローラから遮断を解除 → 警告表示も解除
- ◆ 「理由は分からないが見つからない」というクレームを排除

遮断などの情報をSOC/NOC※などからレポート提出も可能

SOC/NOC連携

弊社独自サービスとして、トレンドマイクロ製品（Deep Discovery™ Inspector）の稼働監視、不正プログラム等の検出ログの監視などを提携先のSOC/NOCより、運用管理者向けに月次レポートとして提出、報告します。

※SOC : Security Operation Center、NOC : Network Operation Center

アラクサラネットワークス AXシリーズ サイバー攻撃自動防御ソリューションは導入しやすさと運用のしやすさと高いハイパフォーマンスで高セキュリティを実現します

※本リーフレット中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。
※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。
※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。
※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

作成日：2019年04月

商品・サービスに関するお問い合わせ・ご相談受付

www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/

※ご相談、ご依頼いただいた内容は、回答などのため、当社のグループ会社に情報を提供し対応させていただくことがあります。取り扱いは十分注意し、お客様の許可なく他の目的に使用することはありません。



本リーフレット掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/alaxala/



株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp